

令和元年度 決算の概要

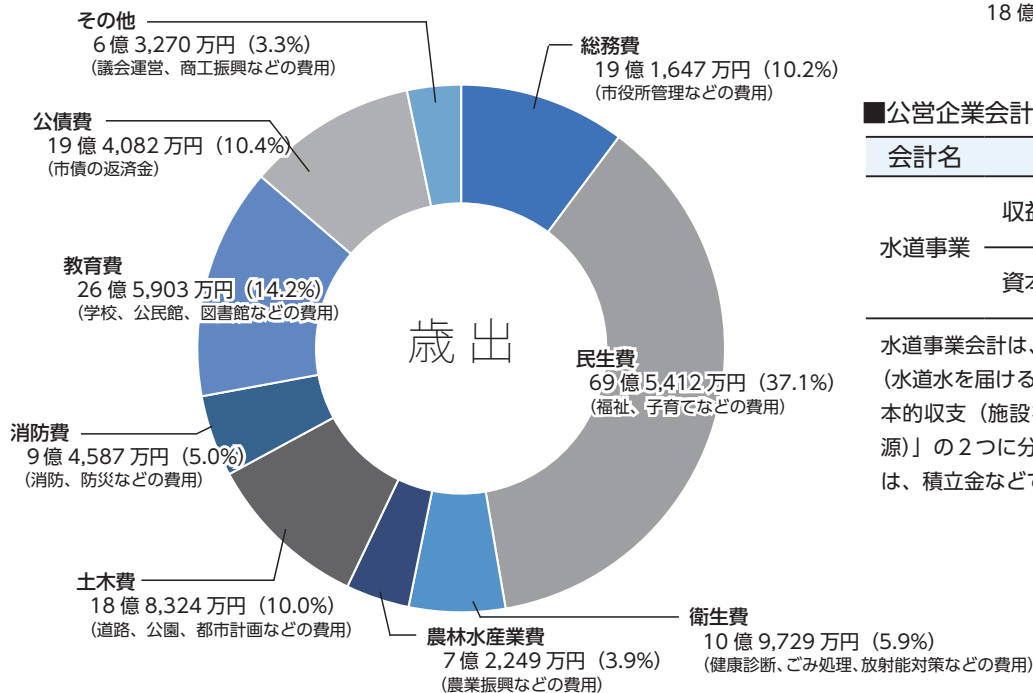
令和元年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算が、市議会（第3回定例会）で認定されました。市の予算がどのように使われて、市の財政がどのような状況にあるかをお知らせします。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58 - 2111（内線2204）

■歳入歳出の差引額 5億840万円

うち、次年度も継続して事業を実施するための財源
[すこやか福祉館入浴施設改修事業など] …6,835万円
◎翌年度に繰り越しする額…4億4,005万円

歳出 187億5,203万円 [前年比2.4%減]

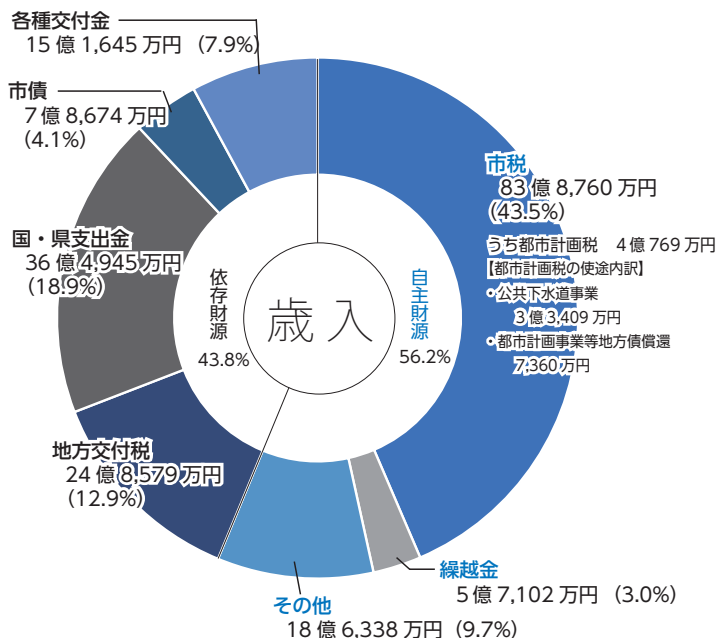


■令和元年度特別会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	44億8,598万円	44億988万円
後期高齢者医療	5億2,893万円	5億2,842万円
介護保険	36億6,818万円	35億216万円
公共下水道事業	11億7,688万円	10億9,455万円
農業集落排水事業	3億6,147万円	3億3,165万円
市営分譲住宅	3,937万円	3,902万円

歳入 192億6,043万円 [前年比2.7%減]

■自主財源…皆さんから納めていただいた税金など
■依存財源…国や県から交付されるお金や借入金など



■公営企業会計決算総括表

会計名	区分	決算額
水道事業	収益的収支	収入 15億1,181万円
		支出 13億8,198万円
	資本的収支	収入 4億51万円
		支出 6億1,655万円

水道事業会計は、公営企業会計です。「収益的収支（水道水を届けるために必要な経費と財源）」と「資本的収支（施設を整備するために必要な経費と財源）」の2つに分けています。資本的収支の不足分は、積立金などで補いました。

■一般会計

一般会計において、歳入で最も大きな割合を占めているものは市税で、決算額の43.5%を占めています。次いで国・県支出金、地方交付税の順となっています。

歳出では、決算額が187億5,203万円となりました。内訳は、福祉などの費用の民生費が37.1%を占めており、次いで教育費、公債費、総務費の順となっています。